

第4章 重点プロジェクト

望ましい環境像の実現に向けて、本市の地域特性や課題などを踏まえ、重点的かつ計画的な展開を図っていく必要がある重点プロジェクトを推進します。

1. 再生可能エネルギーの利用推進

太陽光などを活用した再生可能エネルギーの利用を推進し、カーボンオフセット制度等と連携した新たな施策を検討します。

2. バイオガスプロジェクトの推進

生ごみ等を活用したバイオガスプロジェクトを推進し、資源循環型社会システムの構築を目指します。

3. EV普及によるまちづくりの推進

EV（電気自動車）普及によるまちづくりを進め、本市の温室効果ガス排出量の約42%を占める運輸部門の削減対策を推進します。

4. 生物多様性の保全

「生物多様性地域戦略」を策定し、生物多様性を保全することにより、健全で恵み豊かな自然環境を将来の子どもたちに継承します。

5. 環境保全活動のネットワークの構築

「かごしま環境未来館」を中心として、市民・事業者・市民活動団体など、さまざまな活動主体とネットワークを構築し、協働・連携しながら環境保全活動を推進します。

第二次鹿児島市環境基本計画 重点プロジェクト

プロジェクト名	1 再生可能エネルギーの利用推進
主管課	再生可能エネルギー推進課
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○既存施策の継続・推進 太陽光発電システムの公共施設への率先的な導入 住宅用太陽光発電システムの設置補助 ○新たな施策の検討・推進 風力や小水力などの公共施設への導入 本市が取組む再生可能エネルギーの導入促進策検討
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>(27年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○太陽光発電システムの公共施設への率先的な導入 メガソーラー発電所計画に基づき、公共施設へ太陽光発電設備の設置を推進した。 平成27年度末現在の累計実績：77施設 2003.16kW ○住宅用太陽光発電システムの設置補助 住宅用太陽光発電システムを設置する市民等に対して、補助金を交付した。 平成27年度末現在の累計実績：設置件数：10,913件 出力総計：45,710kW ○風力や小水力などの公共施設への導入 南部処理場に小水力発電を導入した。 ○本市が取組む再生可能エネルギーの導入促進策検討 本市が取組む方向性や具体的項目を掲げた「再生可能エネルギー導入促進行動計画」を策定した。
	<p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○固定価格買取制度など再生可能エネルギーに関する国の動向等を踏まえ、施策に取り組む必要がある。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○本市が取組む再生可能エネルギーの導入促進策検討 「再生可能エネルギー導入促進行動計画」に基づき、再生可能エネルギー電力の供給拡大方策に加え、木質バイオマス熱や太陽熱などの再生可能エネルギー熱の利用を進めるなど年次的に事業を実施していく。

プロジェクト名	2 バイオガスプロジェクトの推進
主管課	南部清掃工場
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>(これまでの検討経過)</p> <p>24年度 バイオガス施設整備基本計画策定 25年度 バイオガス施設整備基本計画の詳細検討及び同計画を 基に、南部清掃工場の整備スケジュールを調整 26年度 新南部清掃工場（ごみ焼却施設・バイオガス施設）整備基 本計画策定</p> <p>(27年度事業内容)</p> <p>バイオガス施設整備を含めた新南部清掃工場（ごみ焼却施設・バイオ ガス施設）整備基本計画を踏まえ、生活環境影響調査や事業手法選定調 査等を実施して、基本設計を作成した。</p>
	<p>【課題等】</p> <p>・東京オリンピック開催に伴う競技関係施設等の整備や東北、熊本震災 復興事業などによる建設需要の増加が、建設費の上昇や工期へ影響する ことが懸念されている。</p>
今後の方向性	南部清掃工場のごみ焼却施設と併せて一体整備し、33年度稼働を目標 に、事業に取り組んでいく。

プロジェクト名	3 EV普及によるまちづくりの推進
主管課	再生可能エネルギー推進課
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○インフラの整備 ○EV購入時の補助 ○公用車への率先導入
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>(27年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○EV購入時の補助 EVの普及促進により、自動車使用に伴う温室効果ガス排出量の削減を図ることを目的に、EVを購入した市民・法人へ補助を行っている。 ・補助額：15万円/台 ・補助件数：25年度：58台、26年度：59台、27年度：39台 ○公用車への率先導入 「鹿児島市環境対応車導入指針」の進行管理を行い、各部署が公用車等を環境対応車に切り替える一環として、電気自動車の導入を図っている。 ・導入台数：25年度：5台、26年度：1台、27年度：1台 ○充電インフラの整備・管理運営 かごしま環境未来館に設置（平成26年3月）した急速充電設備の管理運営を行った。 ・利用状況：26年度：584台、27年度：644台
	<p>【課題等】</p> <p>EVの普及にあたっては、本体車両価格が、年々下がりつつあるが、依然、高額であり、ガソリン車に比べ航続距離が短い。</p>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○EV購入時の補助 国等の助成制度の状況やEVの普及状況を踏まえ、補助制度の見直しを検討する。 ○公用車への率先導入 引き続き導入を図っていく。 ○充電インフラの整備 民間による設置が進められていることから、その状況を注視しながら、EVの普及状況などを踏まえ、対応していく。

※EV＝電気自動車

プロジェクト名	4 生物多様性の保全
主管課	環境保全課
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>鹿児島市生物多様性地域戦略（平成26年3月策定）に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を推進した。</p> <p>【平成27年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「かごしま自然百選」ガイドブックの発行 ②市民活動団体等との協働による生物多様性保全活動の推進 ③国際生物多様性の日（5月22日）を契機とした市公共施設等と連携した生物多様性の実感イベント等の開催 ④生物多様性向上推進委員会（庁内）の開催
	<p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の生物多様性（生き物の生息生育）の情報不足への対応 ・生物多様性への理解の向上 ・自然百選に選定された地域の今後の保全策の検討
今後の方向性	<p>国際生物多様性の日を契機とした生物多様性の実感イベント等の開催の拡大、自然百選の活用、子ども向けへの教材等の作成により、生物多様性への理解の深める取組を積極的に推進するとともに、市内の生物多様性に関する情報の収集方法等について検討する。</p>

プロジェクト名	5 環境保全活動のネットワークの構築
主管課	環境政策課
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>地域における環境学習や環境保全活動を推進していくため、地域で環境保全活動に取り組む市民団体や事業者と協働して各種事業を実施した。</p> <p>○地域まるごと 共育講座 平成27年6月28日～平成28年2月28日（全30講座）</p> <p>○環境活動発表交流会 平成27年9月6日（会場：かごしま環境未来館）</p> <p>○地域まるごと環境フェスタ in 吉田 平成27年10月17日（会場：吉田公民館）</p> <p>※環境未来館登録団体 62団体（H28. 3.31現在） 【平成27年度よりサテライト団体と登録団体を統合】</p>
	<p>【課題等】</p> <p>各団体の現状や求めていることの把握が必要。団体同士の連携を促進するために交流できる場を創出することが大事である。</p>
今後の方向性	<p>団体のニーズをより把握するために相互のコミュニケーションを積極的に図るとともに、環境活動発表交流会以外にも地域毎の交流会を開催する。</p>